



けいせんまちじんけん どうわ もんだいきょうぎかい
 桂川町人権・同和問題協議会
 かいちょう けいせんちやうちやう
 会長（桂川町長）

いの うえ とし かず
 井上 利一

けいかん 100号の発刊によせて

じんけん どうわ もんだいけいはつさつし きねん ごうはっかん
 人権・同和問題啓発冊子「けいかん」の記念すべき100号発刊を
 こころ いわ もう あ
 心からお祝い申し上げます。

ふ かえ だい ごう しょうわ ねん がつ かんこう てが いんさつ りき
 振り返れば、第1号は昭和50年9月に刊行され、手書き印刷の力
 さく すで ねん れきし きざ
 作でした。あれから既に50年の歴史を刻んできたことになります。
 はっかんとうじ しんまいしよくいん わたし きやういくい いんかい じむきよく せき お
 発刊当時、新米職員だった私は教育委員会の事務局に席を置いて
 きやういくちやう ふるのひで おせんせい たんとう すえよし かいせいご さるわたり
 ましたので、教育長の古野日出男先生と担当の末吉（改姓後は猿渡）
 てつおし ねっしん とく きおく
 鉄雄氏が熱心に、取り組んでおられたことを記憶しています。

「けいかん」と言う名前は、荊（いばら）の冠を早く桂（かつら）
 かんむり か ねが こ なづ
 の冠に変えたいという願いを込めて名付けられたそうです。

げんだいしゃかい おどろ きやうげき はや へんか しんてん ふ
 現代社会は、驚くばかりの急激な速さで変化・進展しています。「不
 えき りゆうこう おし か ほんしつてき けんじ
 易・流行」の教えのように、変わることない本質的なものを堅持し
 あたら と い かんよう もと おも
 ながら新しいものを取り入れていく寛容さが求められていると想う
 しだい
 次第です。



目次

けいかん 100 号の発刊によせて	1 ページ
特集「聞こえる・聞こえない」を超えて、共に生きる社会へ	3 ページ
福岡県同和問題啓発強 調月間の取り組み	5 ページ
桂川町人権・同和問題地域懇談会の報告	8 ページ
人権同和問題に関する法律や条例の紹介	12 ページ

